

—KOMEI—
公明党 埼玉県議会議員 http://www.gonmori.com No.29

ごんもり 幸男 県議会ニュース

f yukio.gonmori

@gonmori_yukio

LINE goncall1013

gonmori.yukio/

公式ホームページはこちら



県政相談はお気軽に TEL・FAX048-738-2364 E-mail:yukio@gonmori.com



①災害に強い街 春日部を作る！

◆耐震化など防災・減災対策の推進！

築71年の新川橋や、築64年の宝珠花橋など県管理の橋の架け替えや修繕、水道の送水管、下水道管やマンホールの耐震化を着実に推進します。

◆避難所となる県立学校 体育館にエアコン設置

県内で災害時に避難所となる県立学校の防災拠点校や春日部市内の県立学校5校にエアコン設置を推進します。

②春日部に新たな賑わいの場を！

春日部に河川を活かした新たな賑わいの場をつくるべく、「Next川の再生『水辺deベンチャーチャレンジ』」を推進します。



③春日部駅の高架化と東埼玉道路の延伸で春日部に活力を！

春日部駅の高架化にともなう西口駅前の再開発と東埼玉道路（一般道）の延伸化で、地域経済発展と企業誘致による雇用拡大で埼玉をけん引する活力を春日部に生み出します。

④デジタル技術の活用で人にやさしい街づくり！

ICT（情報通信技術）活用で、子どもたち一人ひとりの状況やニーズに応じた教育支援、また、行政サービスのオンライン化の推進や高齢者へのデジタル活用支援など、デジタル技術の活用で一人ひとりに寄り添うことのできる、やさしい街づくりを推進します。また、無料Wi-Fiスポットの拡充や品質の向上も推進します。



ごんもり幸男の 6つの挑戦！

⑤安心して子どもを産み育てられる街に！

国と連携し、0～2歳児の幼児保育の無償化の対象拡大などを推進し、子育てしやすい、子どもたちの笑顔あふれる春日部を目指します。



⑥誰もが支え合う街を目指して福祉の充実！

◆「プラチナ・サポート・ショップ」の拡大！

都道府県レベルでは全国初となるシニア世代の暮らしを支える「プラチナ・サポート・ショップ」を創設しました。今後、協賛店舗をさらに拡大し、いつまでも豊かな暮らしがおくれる春日部にしていきます。

◆「チームオレンジ」の創設や運営をあと押し！

認知症サポーターと認知症の方やその家族をつなぐ支援の輪「チームオレンジ」の立ち上げや運営を推進します。



Saitama KOMEI チャンネル

埼玉公明党の動画配信チャンネル YouTube 動画で配信。埼玉県議会公明党議員などの取り組みをお届けします。ぜひともご覧ください。



Saitama KOMEI チャンネル

01 LINE 相談窓口

02 交通安全対策



公明党 埼玉県議会議員
春日部市 ごんもり 3:30

市民相談
8,000件!

あふれる情熱と行動で春日部の未来をひらく! ごんもり幸男の確かな実績!!

<防災・減災>

01 県内河川の水害リスクを大きく軽減

ゲリラ豪雨や長雨による河川増水を抑制するため川底の堆積土砂や樹木撤去を推進し、25mプール900杯分の流量を確保。これにより水害リスクを大きく軽減しました。今後も更に推進して参ります。

02 県独自の被災者安心支援制度創設

国の制度では適用条件があり、支援の対象とならなかった被災者を救済する、県と市町村の共同による被災者安心支援制度（生活再建支援金最大300万円給付）の創設に尽力しました。

03 車中泊避難対策を推進（弾性ストッキング）

地震などによる車中泊避難者が窮屈な姿勢により出来た血栓が肺の血管に詰まるエコノミー症候群予防策として、医療用の「弾性ストッキング」を県内防災倉庫に備蓄推進。今後も備蓄を増やします。

<街づくり>

04 開かずの踏切解消へ前進（春日部駅高架化）

ごんもりが公明党のネットワーク力を活かし市・県・国をつなぎ、春日部駅高架化の国の事業認可取得や県の事業着手を力強くあと押ししました。事業推進に必要な用地取得は順調に進み、現在、仮設ホームと仮設線の工事がスタートしました。

05 東埼玉道路の延伸を後押し!

八潮市から春日部市をつなぐ東埼玉道路では、現在、一般道で松伏町や春日部市の用地取得や工事を進める段階にまで推進してきました。今後も国と連携し、更なる延伸を力強くあと押しし、一日でも早く東埼玉道路が春日部に開通するよう尽力します!



(提供：春日部市)

<安全・安心>

<地元市議団と連携> 春日部市内全域で街路灯と信号機の

06 LED化を実現

ごんもりと地元市議団が連携し、市内の街路灯や信号機のLED化を実現しました。街路灯は13,373基（2016年11月時点）全てLED照明に切り替えが完了し、導入後、4年間でおよそ1億9,200万円（諸経費は別途）の電気料金の節約となりました。信号機のLED化も順次、進めています。

歩行者の安全を守る「止まってくれてありがとう」の設置を推進

07

車両の横断歩道停止率が低い埼玉県の状況を改善するため、感謝型電柱幕「止まってくれてありがとう」の設置推進をいち早く県に提唱。埼玉県の車両の停止率は、全国40位から、現在は27位まで向上しました。（2022年8月時点）



▲2020年9月定例会

08 駅ホームの転落防止対策を推進

駅ホームからの転落を防止するため県内24駅に「ホームドア」を設置。156駅にホーム内側をついで判別できる「点状ブロック」を設置することができました。対象となる利用者数1万人以上の駅の転落防止設備の整備率は100%です。（2021年度末時点）



▲点状ブロック



▲ホームドア

<教育>

09 県内私立高校授業料の実質無償化を拡充

県内私立高校授業料の実質無償化対象を2020年度から世帯収入720万円未満に拡充。県内私立高校に通う生徒数のおよそ5割に当たる24,158人（2021年度）が実質無償化になりました。今後も更なる拡充に尽力します。

10 LINEを活用した相談窓口の創設

子どもたちが抱える悩みなどを気軽に相談できるよう、県内すべての中高校生（さいたま市除く）を対象にLINEを活用した相談窓口の設置を2020年度に実現しました。相談件数は2年間で2,000件。様々な悩み等の早期発見につながり、問題の深刻化を未然に防ぐことに大きく貢献しました。



11 公立高校入試 急病者の救済措置として「追試験」を導入

埼玉県内の公立高校入試で、インフルエンザなどの急病にかかった受験生への救済措置として「追試験」を受けられるようにしました。2017年に県議会で訴え、2019年春からスタート。これがコロナ禍でも大きな安心を広げ、この4年間で約350人の受験機会を確保しました。

<医療>

不育症の検査費助成制度の創設と不妊治療・

12 不育症に関する県相談窓口の充実

県独自に先進医療以外の不育症検査費用に対して夫婦につき最大2万円の助成を実現しました。

また、不妊・不育症の治療を行っても、流産、死産等により子どもを持つことができなかった方の精神的負担を軽減できるよう、オンライン相談できるピアサポートセンター「ふわり」の設置をあと押しするなど相談機能を強化しました。



13 救急電話相談を拡充

小児救急電話相談#8000と大人用救急電話相談#7000を統合し、24時間365日利用できる救急電話相談#7119を創設。急病やけがの際に、自宅での対処法や医療機関への受診の必要有無などについて看護師が電話で相談に応じます。2021年度の相談件数は20万560件。

<福祉>

14 パパ・ママ応援ショップカードを拡充

子育て世代を応援する「パパ・ママカード」の対象を妊娠中から高校生の子どもの持つご家庭まで拡充。紙またはスマホアプリ版の優待カードを提示して割引などのサービスを受けられる協賛店舗数は23,710店（2022年11月末時点）。現在も増加中です。



15 フレイル予防（健康長寿延伸）の推進

春日部市の健康寿命は県の平均を下回っています。全ての人々が、いきいきと前向きに暮らし続けていくために、フレイル予防は重要です。ごんもりは、フレイル予防の普及のため「健康長寿サポーター（健康づくりの知識を身に付け実践し、周囲へ広める方）」の養成を推進してきました。現在のサポーター数は県内で10万人を超えました。（2022年9月末時点）

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

— KOMETO —
公明党
県議会控室

埼玉県議会議員

ごんもり幸男

TEL 048-822-9606 FAX 048-822-9408

〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚250-337 TEL・FAX 048-738-2364



—KOMEITO—
公明党

埼玉県議会議員

http://www.gonmori.com No.29

ごんもり幸男

県議会 ニュース



f yukio.gonmori

@gonmori_yukio

LINE goncall1013

gonmori.yukio/

LINE
登録は
こちら



県政相談はお気軽に TEL:FAX048-738-2364 E-mail:yukio@gonmori.com

ごあいさつ

埼玉県議会議員

権守幸男

2022年は、年明けから新型コロナウイルスの感染者が急増。第7波では、8月5日に最大感染者数13,991人を数え、今も多くの県民が不安を抱いておられます。

また、40℃に迫る気温を記録した6月には、県東部で発生した降ひょうにより、市内の梨ぶどう、キウイなどの生産者やカーポート、雨どいに多くの被害が発生しました。

改めて、心からお見舞いを申し上げます。最新の県政世論調査では、県政に重点対策を求める事項として、「災害から県民をまもる」が第1位でした。

エネルギー・物価高騰対策をはじめ、頻発する風水害や新型コロナウイルス感染症などから県民の生命や財産、そして、生活を守る取り組みは、「政治の最重要課題」です。この多重危機とも呼ぶべき事態の突破口をひらくべく、ごんもり幸男が、その役割を全身全霊で果たし抜いて参ります。

引き続き、ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

埼玉県議会 9月定例会報告

大規模な補正予算で原油・物価高騰、新型コロナへの対応強化!

原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援……………74億1,872万4千円

- ①高齢者・障害者・児童養護施設、保育所、放課後児童クラブ、私立学校などに対する光熱費等を補助
- ②県内トラック運送事業者に対し燃料費を補助
(貨物自動車：3万円/台、軽貨物自動車：1万円/台)
- ③農業者の経営継続に対する支援
- ④観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援
県内宿泊客に対して飲食店や土産物店等で
使用できる「とくとく埼玉!観光クーポン」券
(1人1宿泊当たり最大3,000円)を配布



詳しくはこちら



▲9月補正予算の概要

地方創生臨時交付金に新たに6000億円

物価高騰の影響を受けた方への支援に、地域の実情に応じて活用

政府が9月に決定した物価高対策により、自治体が地域の実情に応じた事業に使える「地方創生臨時交付金」の中に、新たに6000億円の「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」が創設されました。埼玉県分として約145億円です。エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、きめ細やかに必要な支援を行う取り組みに充てられます。春日部市分として約4.6億円、子育て支援などに充てられる予定です。

ごんもり幸男は、皆様の生活を守るべく全力を尽くして参ります。

市民相談

8,000件!

あふれる情熱と行動で
春日部の未来をひらく!

ごんもり幸男の確かな実績!!

<防災・減災>

01 県内河川の水害リスクを大きく軽減

ゲリラ豪雨や長雨による河川増水を抑制するため川底の堆積土砂や樹木撤去を推進し、25mプール900杯分の流量を確保。これにより水害リスクを大きく軽減しました。今後も更に推進して参ります。

02 県独自の被災者安心支援制度創設

国の制度では適用条件があり、支援の対象とならなかった被災者を救済する、県と市町村の共同による被災者安心支援制度（生活再建支援金最大300万円給付）の創設に尽力しました。

03 車中泊避難対策を推進（弾性ストッキング）

地震などによる車中泊避難者が窮屈な姿勢により出来た血栓が肺の血管に詰まるエコノミー症候群予防策として、医療用の「弾性ストッキング」を県内防災倉庫に備蓄推進。今後も備蓄を増やします。

<街づくり>

04 開かずの踏切解消へ前進（春日部駅高架化）

ごんもりが公明党のネットワーク力を活かし市・県・国をつなぎ、春日部駅高架化の国の事業認可取得や県の事業着手を力強くあと押ししました。事業推進に必要な用地取得は順調に進み、現在、仮設ホームと仮設線の工事がスタートしました。

05 東埼玉道路の延伸を後押し！

八潮市から春日部市をつなぐ東埼玉道路では、現在、一般道で松伏町や春日部市の用地取得や工事を進める段階にまで推進してきました。今後も国と連携し、更なる延伸を力強くあと押しし、一日でも早く東埼玉道路が春日部に開通するよう尽力します！



（提供：春日部市）

<安全・安心>

06 <地元市議団と連携> 春日部市内全域で街路灯と信号機のLED化を実現

ごんもりと地元市議団が連携し、市内の街路灯や信号機のLED化を実現しました。街路灯は13,373基（2016年11月時点）全てLED照明に切り替えが完了し、導入後、4年間でおよそ1億9,200万円（諸経費は別途）の電気料金の節約となりました。信号機のLED化も順次、進めています。

07 歩行者の安全を守る「止まってくれてありがとう」の設置を推進

車両の横断歩道停止率が低い埼玉県の状況を改善するため、感謝型電柱幕「止まってくれてありがとう」の設置推進をいち早く県に提唱。埼玉県の車両の停止率は、全国41位から、現在は27位まで向上しました。（2022年8月時点）



▲2020年9月定例会

08 駅ホームの転落防止対策を推進

駅ホームからの転落を防止するため県内24駅に「ホームドア」を設置。156駅にホーム内側をついで判別できる「点状ブロック」を設置することができました。対象となる利用者数1万人以上の駅の転落防止設備の整備率は100%です。(2021年度末時点)



▲点状ブロック



▲ホームドア

<教育>**09 県内私立高校授業料の実質無償化を拡充**

県内私立高校授業料の実質無償化対象を2020年度から世帯収入720万円未満に拡充。県内私立高校に通う生徒数のおよそ5割に当たる24,158人(2021年度)が実質無償化になりました。今後も更なる拡充に尽力します。

10 LINEを活用した相談窓口の創設

子どもたちが抱える悩みなどを気軽に相談できるよう、県内すべての中高生(さいたま市除く)を対象にLINEを活用した相談窓口の設置を2020年度に実現しました。相談件数は2年間で2,000件。様々な悩み等の早期発見につながり、問題の深刻化を未然に防ぐことに大きく貢献しました。

**11 公立高校入試 急病者の救済措置として「追試験」を導入**

埼玉県内の公立高校入試で、インフルエンザなどの急病にかかった受験生への救済措置として「追試験」を受けられるようにしました。2017年に県議会で訴え、2019年春からスタート。これがコロナ禍でも大きな安心を広げ、この4年間で約350人の受験機会を確保しました。

<医療>**12 不育症の検査費助成制度の創設と不妊治療・不育症に関する県相談窓口の充実**

県独自に先進医療以外の不育症検査費用に対して夫婦につき最大2万円の助成を実現しました。

また、不妊・不育症の治療を行っても、流産、死産等により子どもを持つことができなかつた方の精神的負担を軽減できるよう、オンライン相談できるピアサポートセンター「ふわり」の設置をあと押しするなど相談機能を強化しました。

**13 救急電話相談を拡充**

小児救急電話相談#8000と大人用救急電話相談#7000を統合し、24時間365日利用できる救急電話相談#7119を創設。急病やけがの際に、自宅での対処法や医療機関への受診の必要有無などについて看護師が電話で相談に応じます。2021年度の相談件数は20万560件。

<福祉>**14 パパ・ママ応援ショップカードを拡充**

子育て世代を応援する「パパ・ママカード」の対象を妊娠中から高校生の子どもを持つご家庭まで拡充。紙またはスマホアプリ版の優待カードを提示して割引などのサービスを受けられる協賛店舗数は23,712店(2022年10月末時点)。現在も増加中です。

**15 フレイル予防(健康長寿延伸)の推進**

春日部市の健康寿命は県の平均を下回っています。全ての人、いきいきと前向きに暮らし続けていくために、フレイル予防は重要です。ごんもりは、フレイル予防の普及のため「健康長寿サポーター(健康づくりの知識を身に付け実践し、周囲へ広める方)」の養成を推進してきました。現在のサポーター数は県内で10万人を超えました。(2022年9月末時点)。

①災害に強い街 春日部を作る！

◇耐震化など防災・ 減災対策の推進！

築71年の新川橋や、築64年の宝珠花橋など県管理の橋の架け替えや修繕、水道の送水管、下水道管やマンホールの耐震化を着実に推進します。

◇避難所となる県立学校 体育館にエアコン設置

県内で災害時に避難所となる県立学校の防災拠点校や春日部市内の県立学校5校にエアコン設置を推進します。

②春日部に新たな 賑わいの場を！

春日部に河川を活かした新たな賑わいの場をつくるべく、「Next川の再生『水辺deベンチャーチャレンジ』」を推進します。



③春日部駅の高架化と 東埼玉道路の 延伸で 春日部に活力を！

春日部駅の高架化にともなう駅前の再開発と東埼玉道路（一般道）の延伸化で、地域経済発展と企業誘致による雇用拡大で埼玉をけん引する活力を春日部に生み出します。

④デジタル技術の 活用で 人にやさしい 街づくり！

ICT（情報通信技術）活用で、子どもたち一人ひとりの状況やニーズに応じた教育支援、また、行政サービスのオンライン化の推進や高齢者へのデジタル活用支援など、デジタル技術の活用で一人ひとりに寄り添うことのできる、やさしい街づくりを推進します。また、無料Wi-Fiスポットの拡充や品質の向上も推進します。



ごんもり幸男の 6つの 挑戦！

⑤安心して子どもを 産み育てられる街に！

国と連携し、0～2歳児の幼児保育の無償化の対象拡大などを推進し、子育てしやすい、子どもたちの笑顔あふれる春日部を目指します。



⑥誰もが支え合う 街を目指して 福祉の充実！

◇「プラチナ・サポート・ショップ」の拡大！
都道府県レベルでは全国初となるシニア世代の暮らしを支える「プラチナ・サポート・ショップ」を創設しました。今後、協賛店舗をさらに拡大し、いつまでも豊かな暮らしがおくれる春日部にしていきます。

◇「チームオレンジ」の創設や運営をあと押し！
認知症サポーターと認知症の方やその家族をつなぐ支援の輪「チームオレンジ」の立ち上げや運営を推進します。



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

—KOMEI TO—
公明党
県議会控室

埼玉県議会議員

ごんもり幸男

TEL 048-822-9606 FAX 048-822-9408

〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚250-337 TEL・FAX 048-738-2364



—KOMETO—
公明党

埼玉県議会議員

http://www.gonmori.com No.30

ごんもり 幸男

県議会 ニュース

f yukio.gonmori

@gonmori_yukio

@iet4357q

gonmori.yukio/

公式
ホーム
ページは
こちら



県政相談はお気軽に TEL・FAX048-738-2364 E-mail:yukio@gonmori.com



自動運転バスを春日部に!

自動運転専用道路の整備と 新たな交通システムの導入を目指します!

埼玉県八潮市から春日部市を結ぶ延長約17.6kmの東埼玉道路。国道4号の渋滞緩和や地域経済の活性化に繋がると期待されています。これまで、一般道の延伸に向け、松伏町や春日部市の用地取得や工事を進める段階まで推進してきました。さらに現在、八潮市内から春日部市内まで約14.4kmの区間へ「自動運転専用道路」を整備する機運が高まってきました。

公明党は国と地方のネットワーク力を活かし、東埼玉道路（一般道）の延伸と共に、春日部までの「自動運転専用道路」の整備や自動運転バスなど新たな交通システムの導入を目指します!



公明党が 国と地方の ネットワーク力で 後押し!!



▲事業位置図

春日部駅高架化に伴う西口駅前の再開発を推進!

東口仮駅舎が 2023年3月までに 使用開始予定!

春日部市は春日部駅の鉄道高架化に加え、西口駅前の再開発など魅力あるまちづくりに全力で取り組んでいます。市民の皆様がもっと快適に暮らせるよう、ごんもり幸男は公明党春日部市議団と連携し、事業を推進してまいります。



▲春日部西口広場のイメージ

春日部市提供

埼玉県議会で 公明党が推進!

子育て支援、物価高騰対策で 県民生活を守る補正予算成立

埼玉県議会では12月、長期化する物価高で経済的な打撃を受けている県民や事業者への支援策などを盛り込んだ総額129億1,642万円の補正予算を成立しました。これには、埼玉県議会公明党議員団が推進してきた政策が数多く反映されています。

01 妊娠から出産・子育てまで一貫した支援 (87億4530万円)

子育て家庭の不安解消を図るため、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の拡充や、妊娠届や出生届を提出した家庭に対し、出産準備金として、出産・育児関連用品の購入費への経済的支援（1月1日以降に生まれた新生児1人あたり計10万円相当）を実施する県内市町村を支援します。



02 子どもの安心・安全対策の強化 (14億9000万円)

送迎バスへの子供の置き去り防止など通学時の安全対策を目的に、幼稚園、小中学校、特別支援学校に対して、送迎車両への安全装置の設置や登園管理システム整備、ICTを活用した安全対策機器導入にかかる経費を補助します。



03 エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への支援、県内福祉施設に対する支援(26億8103万円)

ア. 県内福祉施設に対する支援 (7億9188万円)

物価高騰による影響を緩和するため、高齢者、障害者、児童養護施設や保育所等に対し食材料費の高騰分を補助します。



イ. 観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援 (18億8920万円)

国の全国旅行支援を活用した観光客誘致を目的に、埼玉県を目的地とする宿泊・日帰り旅行に対して、最大20%の旅行代金の割引や最大2,000円分の地域観光クーポンを配布します。



春日部 TOPICS

公明党が 推進!

春日部市に待望の市民も利用できる 学校温水プール整備方針が発表

春日部市は「老朽化した学校プール問題」の解消に向け、室内温水プールの整備方針を発表しました。将来的に、学校教育で使用しない時間帯には、市民の皆様も利用できるようにする計画です。埼玉県内の人口20万を超える市の中で、市営プールがないのは春日部市だけでした。「学校プールの老朽化」と「市営プールがない」という二つの問題を合わせて解消するため、公明党が市に提案した結果、今回の整備方針につながりました。

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

—KOMEITO—
公明党
県議会控室

埼玉県議会議員

ごんもり幸男

TEL 048-822-9606 FAX 048-822-9408

〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚250-337 TEL・FAX 048-738-2364



しおの正行

2022.秋号

川口市本前川2-21-10
TEL 048-265-5780公明党埼玉県議団ホームページ
www.komei-saitama.com

9月定例会閉会 委員会で活発に質疑!!

埼玉県議会9月定例会(9月22日開会)が10月14日、1765億1218万9000円に及ぶ補正予算案などを可決し閉会いたしました。

補正予算には、新型コロナウイルス感染症拡大防止や光熱費等高騰対策支援などが盛り込まれました。(補正予算の主な事業は中面を参照ください)

塩野正行議員は、福祉保健医療委員会において、補正予算を含む議案に対し活発に質疑を行いました。



委員会で質疑を行う塩野正行議員

公明党県議団 大野知事に令和5年度予算要望を提出



知事に予算要望

埼玉県議会公明党議員団は10月14日、大野元裕埼玉県知事に対し、重点16項目を含む298項目にわたる令和5年度予算要望を提出いたしました。

予算要望では、保健医療行政の見直しと強化、コロナ禍で疲弊した事業者への支援、原油・原材料価格の高騰から県民生活と中小企業を守る対策をはじめ、防災減災対策の強化と県土強靱化、福祉・医療・障がい者施策の充実、教育立県の構築、環境対策の推進などを強く求めました。

なお、予算要望を行うにあたり、9月12日～14日の3日間、各種団体との意見交換会も実施いたしました。60団体から要望を受けました。

<主な重点要望>

- **新型コロナウイルス感染症対策**
 - ワクチンの円滑な接種
 - コロナ患者対応医療機関及び医療従事者への支援
 - 自宅療養者への医療・健康観察体制の強化
 - 保健所の人員増と機能強化
 - 後遺症外来の体制強化
- **介護職員、保育士、障がい者福祉施設職員の処遇改善と人材確保対策の強化**
- **総合的な認知症対策の強化**
- **児童相談所の体制強化と里親委託の推進**
- **首都直下地震などを想定した防災・減災対策の強化**
- **避難所となる県立学校体育館の空調設備の設置**
- **プラスチックごみ削減の具体的対策の推進**
- **教員の負担軽減策の断行と優秀な教員の確保**
- **特別支援学校の教室不足の解消**
- **県外私立高校生に対する父母負担軽減策の実施**

補正予算に計上された主な事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止など[主な事業]

いまだ収束の見えない新型コロナウイルス感染症に対応するため、感染動向に応じた対策を実施し県民の安心を確保します。また、コロナ禍や物価高騰対策を背景に自殺を思い悩む県民からの相談体制の充実などを図ります。

◆新型コロナウイルス感染症対策

●県民相談の実施

16億7850万2000円

- 新型コロナウイルス感染症県民サポートセンターの運営
- 受診・相談センター等の運営

●検査・医療提供体制の確保

929億6613万円

- 入院医療機関や医療機関への設備整備への助成
- 検査費・入院医療費・外来診療費の公費負担等

●軽症者等の療養体制の確保

510億7571万6000円

- 軽症者等のための宿泊療養施設の確保・運営
- 自宅療養者への適切な療養体制の確保(ピーク時9万8500人に対応)

- ワクチン接種体制の確保(接種医療機関等への支援など)



◆その他

●自殺を思い悩む県民の相談体制の拡充

2404万6000円

- SNS相談「こころのさぽーと@埼玉」の体制を拡充
- 相談の多い21時～1時の相談員の増員
- 年末年始・春休みは毎日実施

●在宅医療従事者の安全確保対策

6823万1000円

- 訪問看護における複数人訪問費用補助の実施
- 専用相談窓口の設置
- 安全対策の取り組みに対する費用補助の実施



県内初、電動車(EV・PHV)の導入費補助が実現

原油価格高騰による県民生活負担の軽減を図るとともに、災害時のレジリエンス機能を高めるため、電動車(EV・PHV)および外部給電器の導入経費を支援し自動車分野におけるCO2排出量削減を加速します。予算額は7億5000円。

◆補助の内容

●EV=電気自動車およびPHV=プラグインハイブリッド車

- 対象者=個人・事業者
- 補助額=上限40万円
- 予定台数=2000台



●外部給電器

- 対象者=事業者
- 補助額=上限25万円
- 予定件数=30件



観光関連事業者・県民への支援

観光需要を喚起するため、県内への宿泊客に対して飲食店や土産物店等で使用可能な「とくとく埼玉!観光クーポン」を配布する観光応援キャンペーンを実施します。

◆補助の内容

●「とくとく埼玉!観光クーポン」の配布

6億505万5000円

- 対象=県内および全国からの旅行者
- 金額=1人1泊当たり最大3000円
- 配布開始時期=11月中旬予定



補正予算に計上された光熱費等高騰対策を含む主な事業 福祉施設への支援・クラスター防止対策・安全確保対策

高騰する光熱費等により高齢者施設、障がい者施設、児童養護施設、保育所、放課後児童クラブなど福祉施設の運営に大きな影響が生じているため、福祉施設の運営継続に対する支援するほか、クラスター発生防止の推進、介護・障がい福祉サービス事業者の安全確保対策などを行います。

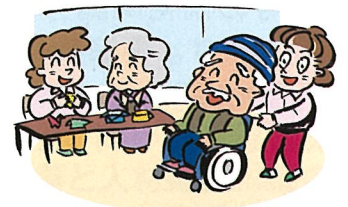


◆福祉施設の運営継続に対する支援

- **高齢者施設**————— **15億7615万円**
 - 入所系施設……………12000円／定員1人
 - 通所系施設……………150000円／施設
 - 訪問系施設……………50000円／施設
- **障がい者施設**————— **2億3230万円**
 - 入所施設……………9000円／定員1人
 - グループホーム…60000円／施設
 - 通所(者)……………60000円／施設
 - 通所(児)……………30000円／施設
 - 訪問……………60000円／施設
- **児童養護施設等**—— **1473万4000千円**
 - 児童養護施設・乳児院等…10000円／定員1人
 - ファミリーホーム等……………8000円／定員1人
- **保育所等**————— **1億1967万5000千円**
 - 保育所・認定こども園等……1700円／定員1人
(県1／2)
- **放課後児童クラブ**
————— **1475万6000千円**
 - 放課後児童クラブ……………500円／定員1人
(県1／2)

◆福祉施設に対するその他の支援

- **入所系福祉施設におけるクラスター発生防止**————— **35億9040万円**
 - 職員等に対し抗原定性検査キットによる週2回の頻回検査を実施
 - 高齢者施設1554施設の7万人が対象(168万キット)
 - 障がい者施設469施設の1万人が対象(24万キット)
- **サービス提供体制の継続確保への支援**
————— **27億3437万5000円**
 - 看護師(リリーフナース)8人を派遣
 - 緊急時の人材確保や職場の復旧・環境整備など
かかり増し経費を補助
- **介護・障がい福祉サービス従事者の安全確保対策**————— **1億2792万9000千円**
 - 訪問介護等における複数人訪問費用の補助
 - ハラスメント専用相談窓口の設置
 - 安全対策の取り組みに対する費用の補助



トラック運送事業者の経営改善への支援

燃料費高騰に対する緊急的な支援として県内トラック運送事業者に対し補助を行います。また、円滑な価格転嫁の促進を図ります。

公明党県議団は8月1日、大野元裕知事に対し「燃料価格高騰に苦しむ運送事業者の支援に関する要望」を行い、県内経済のライフラインである物流機能を維持するために、運送事業者に対する支援金給付を早急に実施することを強く求めました。その要望が形になりました。予算額は35億3534万7000円。

●トラック運送事業者の経営改善への支援

- 補助額＝貨物自動車3万円／台(98000台)
貨物軽自動車1万円／台(24000台)



知事に要望書を手渡す(右から3人目がしおの県議)

知事に「さらなる物価高騰対策を求める要望」を提出!

公明党県議団は10月14日、大野元裕知事への予算要望の際、「さらなる物価高騰対策を求める要望」をあわせて提出いたしました。

物価高騰は県民生活に大きな影響を及ぼしています。埼玉県はこれまでも国の地方創生臨時交付金を活用し物価高騰対策を実施してきましたが、先行きは不透明であり、さらなる支援が必要です。国は9月20日、電力・ガス・食料品等価格高騰に対する重点支援交付金の創設を決定、埼玉県には約145億円が配分されます。この交付金を活用して右記の物価高騰対策を実施するよう県に求めました。

<要望事項>

- ◆ 燃油高騰対策における交通および運送事業者への支援の継続
- ◆ 原材料やエネルギー価格高騰に対する中小・小規模事業者への支援
- ◆ 光熱費等の値上がりに対する医療機関への支援
- ◆ 子ども食堂等への運営支援
- ◆ 高齢者施設、障がい者施設、児童養護施設、保育所など食事を提供する福祉施設に対する食材費値上げ分の支援
- ◆ 市町村が行うプレミアム商品券の発行に対する支援

私立学校における光熱費等高騰対策支援も実施

コロナ禍における物価高騰等の状況に鑑み、保護者に追加負担を求めることなく安定的な学校運営に資するため、補正予算で私立学校に対して光熱費等の価格高騰分の補助を実施します。予算額は1億6373万9000円。

◆ 補助制度

● 対象校

運営費補助の対象である私立学校

● 補助対象

光熱費等(電気代・ガス代・燃料代)

● 補助額

高騰分の6カ月相当

◆ 運営費補助対象校の内訳

- 小学校……………5校
- 中学校……………31校
- 高等学校……………48校
- 幼稚園……………387校
- 特別支援学校……………1校
- 専修各種学校……………53校

埼玉県が屋内50mプールの実施方針などを公表

令和9年4月供用開始へPFI事業を活用

埼玉県は9月30日、屋内50m水泳場整備運営事業における実施方針と要求水準書(案)を公表しました。県は令和9年4月の供用開始を予定しており、同事業は民間の資金や経営能力、技術を活かすPFI事業として実施します。設置場所は現在の北スポーツセンターや神根公園、神根運動場があるところ。

同施設は、日本水泳連盟公認の県内初の公営屋内50mプール。水泳競技大会を開催しアスリートが自らの能力と技術の限界に挑む機会を提供するほか、充実したトレーニング、練習などを行える環境を提供します。

また、アスリートだけでなく、ユニバーサルデザインを取り入れ、子供から高齢者まで障がいの有無にかかわらず県民誰もが利用しやすい施設となり、50m×10レーンのメインプール、飛び込みプール、25m×10レーンのサブプール、3000席の観客席などで構成されます。

今後、実施方針や要求水準書に基づき入札に向けた準備を進め、令和5年12月には事業者を選定し、県議会の議決を経て、令和6年3月には正式な契約締結のはこびです。

